

取組概要

取組名	NurseAid システムを導入し、看護師・看護助手の人事・勤務管理をデジタル化
RX 区分	業務・運営 RX
部署名等	病院 看護部
取組目的または背景	<p>労務管理及び病院の施設要件として、看護部の勤怠管理は重要なデータである。看護職はシフト制勤務で、突然の勤務変更も多いため、勤務実績と出勤簿の齟齬チェックは、看護部管理室事務の毎日の必須業務であった。</p> <p>紙運用の出勤簿では、看護職員約 630 名の押印忘れや押印間違い確認作業に多くの時間を要していた。そこで、勤怠管理システム導入により、事務の業務負荷低減を図った。</p>
取組内容	<p>令和 4 年 4 月から試験運用の結果を基に、導入後に予測される問題と打刻の徹底、速やかな勤務変更についての方策を検討した。勤怠管理システム開始のポスターの掲示と、打刻時間乖離となる要因を明確にしたうえで、システム運用フローを作成した。打刻が定着した 11 月から紙運用を廃止した。</p>
実施効果	<p>システム導入により打刻での乖離（勤務日の打刻の齟齬）についてのみの確認となり、事務は出勤状況(打刻)の確認が容易にできるようになった。また、押印確認のための電話連絡がほとんどなくなった。その結果、事務の勤怠管理確認作業は、導入前の 1 日平均 2 時間から週 4 時間へ大幅に低減した。</p>